

## 道徳学習指導案

日 時 平成 29 年 10 月 12 日 (木)  
対 象 浜玉中学校 2 年 3 組 3 5 名  
指導者 久保 寛美

- 1 主題名 「周囲の人々の思いを糧に」 内容項目 A - (4) 関連項目 B - (6)
- 2 資料名 「父との約束 - 消防士になりたい」 (自作資料)
- 3 主題設定の理由

### ねらいとする価値について

人間としてよりよく生きるには、夢や目標をもつことが大切である。しかし、急速に変化する現代社会の中で、将来を見通すことが難しかったり、夢や目標をもてなかつたりしてしまうこともある。また、夢や目標をもちつつも、思うようにいかない状況や困難に直面し、挫折したり、日々の目標を見失ってしまったりすることも少なくない。

人は、一人で生きているのではない。他者とのかわりの中で、互いに助け合い、協力し合って生きている。そして、他の人が自分のことを大切に思ってくれていることに触れることで、感謝の心が生まれる。

そこで、指導に当たって、多くの人々の支えに気づき、自己の存在価値を実感させたいと考えた。そして、それによって感じた感謝の気持ちにこたえるために、夢を実現しようとする姿の素晴らしさに触れることで、夢や目標を立てて努力しようとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

### 生徒の実態について

本学級の生徒は、学校行事や部活動などに積極的な姿勢で取り組む生徒が多い。お互いのよい言動を認め合い、高め合う雰囲気も見られる。職場体験学習を通して、勤労の意義について考える機会をもつことができたが、将来への夢に向かって努力する手立てや目標については漠然としている。

中学生の時期は、自分の好むことや価値を認めたものに対して意欲的に取り組む態度が育つ。一方で、自分に自信がもてずあきらめてしまったりくじけてしまったりすることもあるが、そのような時には、周りの支えや励ましに助けられていることも多い。

周囲の人々の支えに気づくことにより、自己の存在価値を実感させ、その支えがあるからこそ、今があり、これからにつながることに気付かせたい。そして、それにこたえようとする気持ちと、これからの自分の生活や進路に向かう新たな気持ちをもたせたい。

### 資料について

本資料は、佐賀県の鹿島消防署に勤める消防士、牧瀬わか奈さんに取材し作成した自作資料である。牧瀬さんは、自身の中・高時代に全力を注いだ陸上競技を、実業団として将来も続けるという夢が途切れた時、自分の将来について悩んだ時期があったが、消防士の父の一言で、同じ消防士の道に進むことを決意した。それからの3年間、夢を実現するまでの苦労や試練があり、また、父が病に倒れてしまう現実と向き合う日々が続いたが、当時の日記には、自分が苦労や試練を乗り越えることができたのは家族の存在と支えがあったからだ、感謝の気持ちを表していた。牧瀬さんの思いをもとに、周囲の人々の支えにより今の自分があることに気付かせ、その思いを糧に、夢や目標に向かって努力していくことの大切さを考えさせることができる資料であるとする。

### 指導について

本時の導入では、9月28日、29日に実施した職場体験活動を振り返り、仕事をする事への意識づけを行い、同時に9月の英語科の授業で学習した「将来の夢」で生徒たちが挙げた夢をいくつか紹介し、自分の将来について考えながら価値への方向付けを行う。展開では、資料前半で、主人公の経験した挫折や迷いに共感させ、その先の進路について考え、議論させることで、多くの意見を交流させたい。後半では、牧瀬さんの思いや生き方の中から、夢を実現させるための力になったものを班で出し合いながら話し合い、価値の分類化に取り組むことで、価値を多角的に捉えさせる手立てとしたい。終末では、牧瀬さんからの生徒たちに向けたメッセージと実際に働く姿を見せることで、生徒たちが、感謝の気持ちにこたえることを一つのプロセスとして、夢を実現しようとする姿の素晴らしさを感じ取り、その価値を自分なりに発展させていこうとする意欲が培われることを目指したい。

#### 4 ねらい

牧瀬さんの姿に、自分の経験や思いを重ねて考えることを通して、周囲の人の支えに気付き、それにこたえるために、これからの自分の進路に向かおうとする気持ちをもたせる。

#### 5 展開

	学習活動	主な発問・予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 職場体験活動の振り返りをする。	<p>職場体験活動で働く体験をしてみ、どうでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかった。</li> <li>・きつかった。</li> <li>・大変さが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を提示し、自分や他の生徒の仕事の様子を振り返らせる。</li> <li>・「将来の夢」で生徒たちが書いた将来の夢を紹介し、自分の将来について考えさせる。</li> </ul>
展開	<p>2 資料を読んで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前半を読む。</li> <li>・ワークシートの1に自分の考えを書く。</li> <li>・班で意見を交流させる。</li> </ul> <p>・後半を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付せん紙に、自分の考えを書く。</li> <li>・班で話し合い、意見をまとめる。</li> <li>・個人で付箋に記入した後、班でホワイトボードに付箋を貼りながら価値を分類化する。</li> </ul>	<p>高校卒業時に目標としていた進路が途絶えたとき、その先の進路はどうなるだろう。あなただったら、どうすると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の目標について考える。</li> <li>・まずは、就職してから考える。</li> <li>・何もしない(できない)。</li> </ul> <p>牧瀬さんの思いや生き方で、夢を実現させる力になったものは何だったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路が途絶えても乗り越えた。</li> <li>・目標。(目標を書いたポストカード)</li> <li>・毎日の努力。あきらめない気持ち。</li> <li>・お父さんの一言。</li> <li>・励ましてくれる人や支えてくれる人への感謝の気持ち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の弱い部分に共感したり、部活動や今一生懸命取り組んでいることを想起したりさせて、自分の経験と重ならせる。</li> <li>・高校卒業したときの進路が途絶えた辛さを強調して、想像させる。</li> <li>・黒板に生徒が考えた高校卒業後の進路を系統図で示しながら視覚に訴える。</li> <li>・自分の考えだけではなく、班の話合いで出た意見を発表させることで、意見を出しやすい雰囲気を作る。</li> <li>・ホワイトボードを黒板に提示し、出された価値をまとめた後、補助発問「この中で、今の自分ができていることはありますか。」と問いかけ、自分との関わりで価値を捉えさせる。</li> <li>・このときの生徒の発言は、どれも肯定的に受け入れて、たくさん出させる。</li> </ul>
終末	<p>3 牧瀬さんからのメッセージ(映像資料)を聞く。</p> <p>4 ワークシートの2に授業の感想を書く。</p>	<p>あなたを見守ってくれている人の思いや支えにこたえるために、これから何をしていきたいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牧瀬さんのその後と現在の紹介をして、映像を提示する。</li> <li>・今の自分を見守ってくれている人を確認する。</li> <li>・発表させて価値を交流する。また、学級通信に載せて帰りの会で感想を読ませて交流する。</li> </ul>

#### 6 評価の観点

牧瀬さんの姿に自分の経験や思いを重ねて考え、自分の周囲の人の支えに気付き、それにこたえるためにこれからの自分の進路に向かおうという気持ちをもつことができたか。(ワークシート)